TOYOTA HOME

News Release

2015 年 11 月 12 日

トヨタホーム株式会社

戸建住宅「ESPACiO(エスパシオ)」の断熱性能向上

ZEHに対応し、11 月 28 日販売開始

トヨタホーム株式会社（名古屋市東区泉１丁目 23 番 22 号、取締役社長 山科忠）は、鉄骨軸組工法の戸建住宅「ESPACiO（エスパシオ)」の断熱性能を向上し、11 月 28 日から販売します。

このほど「ニューハイブリッド断熱工法」を開発し、あわせて高効率の太陽光パネルを採用することで、ＺＥＨに対応します。

断熱材の厚さを最大 25 ㎜増したほか、高断熱ペアガラスを採用し、熱損失を抑えました。これにより「エスパシオ・エフ」のモデルプランで断熱性能を示すU_A値※1は従来の 0.70 から 0.60 になり、国が定めるＺＥＨの断熱性能※2をクリアしました。

※１.住宅の内部から外部へ逃げる熱量を、外皮全体で平均した数値。数値が小さいほど建物の断熱性能が優れていることを示します。
※２.地域区分の４・５・６・７地域で「平成 26 年度ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業」の補助金対象となるU_A値は 0.6 以下。

≪全シリーズがZEHに対応する都市型戸建住宅「エスパシオ」

トヨタホームは「建てる時の安心」「建てた後も安心」「支える安心」の三つの安心をお届けし、60 年長期保証※3制度などで生涯サポートします。

※３．トヨタホーム販売店による点検と適切なメンテナンスが必要

《本件に関するお問い合わせ》

※本内容はニュースリリース時点の内容となります。
ニュースリリース以後の内容は、トヨタホーム各販売会社へご確認下さい。

展示場一覧へ

トヨタホーム株式会社

〒461-0001　名古屋市東区泉１丁目 23 番 22 号

ホームページ：www.toyotahome.co.jp

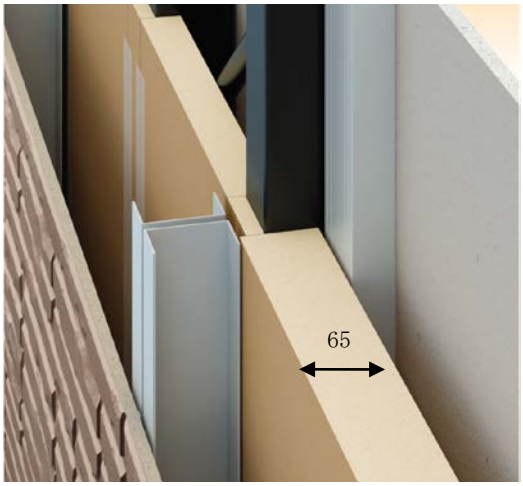
「ニューハイブリッド断熱工法」の概要

NEW HYBRID
ニューハイブリッド断熱工法

□外張り断熱と充填断熱のメリットを両立し、優れた気密性、防湿性を備えた快適な住まいを実現。
旧省エネルギー基準（1980年制定）の住宅の熱損失量を100とした場合、ニューハイブリッド断熱工法を採用したエスパシオ（換気システム「ピュア 24 セントラル」設置）の熱損失量は34に大幅抑制※4。

※4．旧省エネ基準、エスパシオ共に平成 25 年省エネ基準５・６地域での性能。

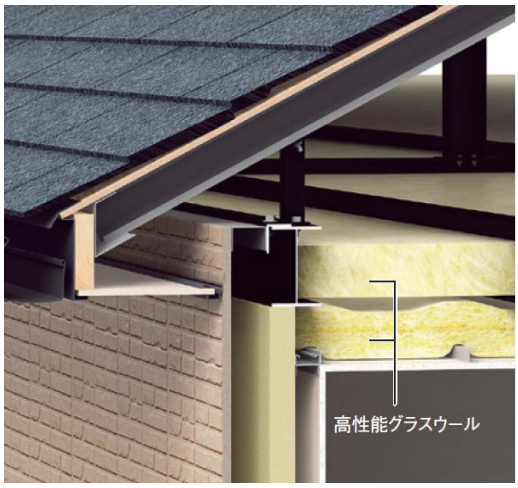
【外張り断熱】

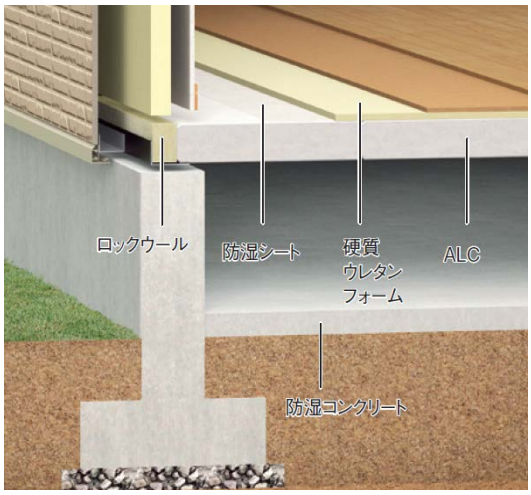


≪外壁部断熱構造≫

≪内側･外側に断熱材を配した梁間断熱≫

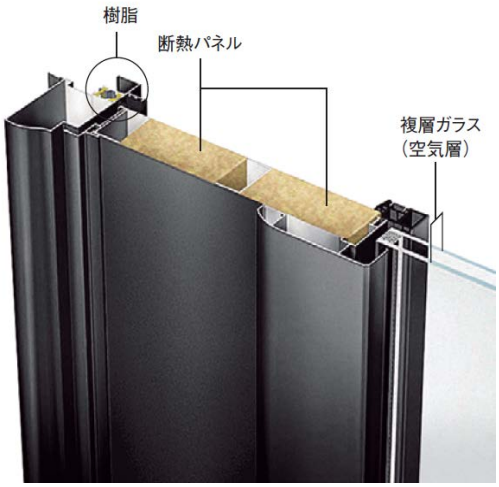
【充填断熱】





【開口部断熱】

≪サッシ断熱構造≫



≪玄関ドア断熱構造≫

以上